

豊田市立若園小学校で防災講座を行いました

令和8年6月2日（火）、台風6号が本州に近づく中、豊田市立若園小学校で3年生105名に防災講座を行いました。

3年生は総合的な学習で「安心安全すてきなまち若園」をテーマに学習し、今回が防災への導入になります。

講座では、豊田市でも被害のあった伊勢湾台風・東海豪雨など過去の水害や新たな防災気象情報について学習しました。学校の近くを逢妻男川（あいづまおがわ）が流れ、東海豪雨ではその川沿いを中心に浸水しています。児童たちは、豊田市役所や豊田スタジアムの想定される10m以上もの浸水深にとっても驚いていました。

また、伊勢湾台風を学習していない児童たちでしたが、A1語り部に「食料はどうしたんですか？」「台風が来た時、水の量はどれだけ上がりましたか？」などの質問をしていました。代表の児童からは、「洪水の水はドアが開かなくなるほどすごいことが分かった」「洪水になったら、少しの深さでも人は歩けなくなることが分かった」などの気づきがありました。

また、明日の台風に関心のある児童は、「明日の台風は伊勢湾台風のようになりますか？」と講師に質問をしていました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



9.12豪雨災害の降水量と背くらべ